

1	審議会名	武石地域協議会
2	日時	平成25年12月18日 午後7時00分から午後9時10分まで
3	会場	武石地域自治センター 第1会議室
4	出席者	新井敦子委員、飯田秀範委員、上野正司委員、大沢春樹委員、柿島勲委員、清住洋子委員、国原敏男委員、児島八重子委員、児玉卓文委員、滝澤由美子委員、竹内明美委員、竹内利通委員、中嶋三津子委員、成田英雄委員、樋沢一幸委員、森美由樹委員、柳沢裕子委員 【欠席委員】3名
5	市側出席者	渋沢地域自治センター長、児玉地域振興課長、犂山市民生活課長、北沢健康福祉課長、雨宮産業観光課長兼建設課長、滝沢武石上下水道課長、児玉武石教育事務所長、佐藤地域政策係長
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年1月31日
	作成部局課名	地域振興課地域政策係

協議事項等

- 1 開会（柳沢副会長）
- 2 あいさつ（上野会長）

皆さんこんばんは。あいにくの雪降りの中、協議会にご出席いただきありがとうございます。今日は初雪ということで雪もこれから多くなり、寒さも厳しくなりますが、風邪など引かないようにお気をつけください。

前回、11月の地域協議会は市内視察でした。建設中の交流文化芸術センター施設の見学、運賃低減バスの利用で上田駅から千曲バスに乗りました。文化芸術センターは武石地域から遠いのですが、完成したら上田市の誇りのひとつとして、大勢の方に使っていただきたいと思います。運賃低減バスは、ほとんどの方が何十年ぶりに路線バスに乗ったということでした。時間があればもっとゆっくり乗って景色を眺め、バス停毎に誰が乗って誰が降りたということも観察できるでしょう。今後も大勢の方に利用していただきたいと思います。

専門部会はまとめに入っていて、3月でみなさん節目になります。現段階の意見として達成した、しなくてもまとめていただき、あとに残したいと思います。

すでに、次期委員候補者推薦依頼の通知が行っていると思います。来年度も引き続き協議会委員として残る方、新しく委員に推薦される方、いずれも地域のために頑張ってくれる方を選んでいただきたいと思います。
- 3 協議事項
 - (1) 専門部会

(会長) 今月と来月で全専門部会の意見をまとめて、完成させたものを協議会の全体会議にはかり、まとめていきたいと思う。雲溪荘部会では、部会を数回開いて議論しているので、本日全体会議でその内容について部会からの報告を聞いてもらいたい。

では、7時45分まで専門部会での話し合い、その後、各部会の協議内容の説明をお願いしたい。

【議題ごとに協議】
 武石地域全域公園化構想の今後の取組について
 活発な地域づくりについて ~おらほの武石づくり~
 雲溪荘について

～部会長から協議内容発表～

武石地域全域公園化構想の今後の取組について

(委員) 武石公園周辺の駐車場、および公衆トイレの整備をしたい。駐車場は、公園北側の武石バイパス沿い市有地の南側の土地を地権者に交渉して譲り受けたい。地域予算を使っても譲り受けたい。その土地が譲り受けられなかった場合は、その西側の土地は、市の土地なのでその場所に作りたい。

公園周辺の整備については、七ヶ自治会、公友会などがいろいろ作業をしているようである。連携をとりながら公園化構想を進めていきたい。

【質疑・意見等】

(委員) 具体的な進め方は。

(委員) 自治センターで土地の所有者を調べてもらい、その方と折衝していきたい。本年度中に出来なければ、次年度への申し送りとしたい。

(委員) 他の団体との折り合いはついているのか。

(委員) 書面を出してある。

活発な地域づくりについて～おらほの武石づくり～

(委員) 当部会では、次の2つのことについて話し合った。1つは、運賃低減バスに乗った感想として、運行本数を増やせないかということ。特に帰りの遅い人たちに対応する要望。

もう1つは、空き家バンクの件。武石地域の空き家を有効利用できないか。武石の若い人たちだけでなく、他の地域の方も移り住むことができないか。空き家の定義、各地域にどのような物件があるか。空き家バンクを推進している佐久市観光交流推進課を年明け1月に訪ねて取り組み状況を聞きたい。

【質疑・意見等】

・ なし

雲溪荘について

～全体会議で協議～

(2) 全体会議

(会長) 全体協議に入る前に、部会長から会議の進め方について説明を願いたい。

(部会長) 資料を用意したので、読み合わせの前に、雲溪荘部会では、身近な色々な意見を言えたり、部会委員で宿泊をしたりした。何年も協議してきた中で、行政側と市民との食い違い、廃止意見について抵抗があった。同じ机に乗って一緒に考えてきて、私たち委員が妥協したわけではなく、現状を見つめ、結論に達した。疑問、質問を出していただきながら、皆が納得できたと思う。

では、資料をご覧ください。～資料は委員が読み合わせ～

(部会長) では、この資料で部会のまとめ、協議会のまとめとしたいと思う。資料、文章の質問、直しなど何かございますか。

(委員) 次の協議会に残すのは、活動結果を引継ぎすることなのか。

(部会長) 協議会がやってきた2年間のまとめとして残していきたい。

(委員) では、引継ぎではなく、2年間の記録結果を報告ではないか。まとめとして残すならば、今の文脈、言い回しを直すほうがよいのではないか。

(委員) 専門部会から協議会の意見として、提起する内容の文面とすれば良いと思う。

(会長) 資料について他に意見などありますか。なければ文面、内容について、今一度部会で確認を願いたい。

(会長) 雲溪荘協議のまとめとして全体会議をとったので、これまでの経過を踏まえて、自由に意見を出してもらいたい。

(委員) 武石地域における雲溪荘の役割、位置付けがはっきり出てきていない。役割が今後の方向性、存続にかかわってくる。武石地域全域公園化構想、うつくしの湯、ともしび博物館、

練馬区立武石少年自然の家などの生かし方と、雲渓荘としての役割、位置付けが入っている。建物を壊すのならば、跡地はこうありたいと明確に出すべきだ。どう使うのか、残すのかをしっかりと踏まえなければならない。

(委員) 武石地域に温泉施設は2箇所必要なのか。うつくしの湯と違った雲渓荘の役割を差別化すれば、位置付けの答えが出る。

(委員) 地域協議会が住民に訴えることは出来ない。温泉施設利用者は、感銘を受けないとリピーターにはならない。位置付けをきっちりして、必要か否かの(次期協議会へ)報告でいいのではないか。経営や食事の中身をどうこうするのは事業団の仕事である。そこまで協議会で考えるととなると、何がなんだか分からなくなってしまふ。

(会長) 他にはどうでしょうか。

(委員) もっと簡単になりませんか。存続か廃止か。まず宿泊施設は廃止の方向性がでた。今後は次の方(次期協議会)に日帰り施設としてやっていくと、そこをはっきりさせ、次に引き継げば良いのでは。

(委員) 何としても位置付け。市へどうしろという説得力がない。どうして必要なのか、その施設の規模はと、しっかりやっていくことが必要ではないかと思う。

(委員) 今の施設があること自体がマイナス。お湯を残すことでゼロから発展して作り上げていき、武石全体が発展していくことで、また新たな宿泊施設として生まれる可能性がある。

(委員) 10年20年先に住民のために、また友人、知人を呼べるような魅力ある位置付けをしていかなければならない。慌てて作った建物では、将来のニーズに合わなくなる。部会が存続不可能の結論として出すとするならば了承する。次に位置付けがしっかりしていれば、住民も納得するのではないか。今後、誰かが手を上げるかもしれないでは危ない。

(委員) 雲渓荘(の存続問題)は、前(2~3期)の地域協議会でも結論が出なかった。それを引き継いでまた結論が先送りでは、次の人(次期)に渡せない。

(委員) 一生懸命話し合ってもらっている。方向性をどうかだけ決めたら前進する。

(委員) 新たな温泉施設としての位置づけを聞きたい。

(委員) 「宿泊施設として」を廃止とすれば、次に進める。

(会長) 決を採りましょう。協議会として現状の方向で宿泊施設として、残さないということで、良いという方は挙手してください。

~挙手多数~

【採決後の意見】

(委員) うつくしの湯があるのに、また日帰り温泉を作るのはどうか。コンセプトが出ていないのに判断できない。二つがどう違うのか踏み込まないと、似たような施設では同時に成り立たせていくのは無理ではないか。

(会長) 雲渓荘部会は、協議のまとめを見直していただき、次回会議へ報告を願いたい。

(会長) その他に意見などありますか。

・ なし

4 その他

「第5期武石地域協議会委員の改選」に向けた日程(案)について

【事務局から説明】

【質疑・意見等】

・ なし

次回会議の日程等について

・ 協議の結果、1月22日(水)午後7時から9時までと決定する。

5 閉会(柳沢副会長)